

パブリックコメント手続で提出された「意見の対応状況」について（令和2年12月16日～令和3年1月20日実施）

意見等を受けた人数
43人

対応区分	件
A. 意見の趣旨等を反映し、計画案に盛り込むもの	12
B. 意見の趣旨等は、計画素案に盛り込み済みのもの	53
C. 計画案に盛り込まないもの	1
D. 具体的な事業の実施にあたり参考とするもの	19
E. その他要望・意見等	192
計	277

パブリックコメント手続での意見

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
1	I 計画策定にあたって	本市は「SDGs 未来都市」に昨年7月に選定されています。SDGs のGoal. 1は「貧困を終わらせる」であり、「2030アジェンダ」の全文冒頭にも「あらゆる形態と側面の貧困を撲滅することが最大の地球規模との課題」と明記されています。本計画との関連が大きくあり、ぜひ追記いただき、本課題を多くの人に知ってもらい、地域全体で取り組む課題として認識いただきたい。	ご指摘のとおり、「(1) 計画策定の趣旨」に課題として明記いたします。また、あわせて、SDGs 未来都市として、その推進に取り組んでおりますことを踏まえ、「5計画の基本的考え方」にSDGs の理念に基づき、子どもの未来応援プランを推進することを追記します。	A
2	I 計画策定にあたって	概要版P1下から12行目～ひとり親家庭より減少率が低いこと～⇒素案P1の下から15行目～ひとり親家庭の貧困率に比べて減少幅が小さいこと～に統一した方が良い。	文言修正 概要版の表現を「ひとり親家庭の貧困率に比べて減少幅が小さいこと」に修正します。	A
3	I 計画策定にあたって	概要版P2計画の位置づけ6行目～必要があり、また対応する支援の範囲も幅広く～⇒素案P2計画の位置づけ5行目～必要があり、またそれぞれの取組が共通していることから～に統一した方が分かりやすい。	文言修正 概要版の表現を「またそれぞれの取組が共通していることから」に修正します。	A
4	II 子どもの貧困の状況	文章とグラフのリンクがいまいちです。グラフが何を表しているものなのか、より直感的に解るように記載して欲しいです。	概要版文章にはひとり親世帯についての表現が含まれていますが、表の記載がなかったことから、ひとり親世帯の相対的貧困率の表も加えることとします。	A
5	III 鹿児島市子どもの生活に関するアンケート調査結果の概要	概要版P4上から2行目～（世帯の可処分所得を世帯人員の違いにより調整した所得）～及び素案P13 集計の方法～（世帯の箇所部員所得を世帯人員の平方根で割って調整した所得）～⇒素案の一部を変えて、素案のとおりとした方が良い。～（世帯の可処分所得を世帯人員数の平方根で割って調整した所得）～	文言修正 概要版及び素案の表現を「（世帯の可処分所得を世帯人員数の平方根で割って調整した所得）」に修正します。	A
6	III 鹿児島市子どもの生活に関するアンケート調査結果の概要	素案P21, P22, P24, P27, P28, P29, P30, P31, P32, P33, P34の表に単位%の表示をした方がよいと思う。	記載修正 単位%の表示をします。	A

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
7	Ⅲ鹿児島市子どもの生活に関するアンケート調査結果の概要	素案P14, P15, P16, P17, P18, P19, P20, P23, P25, P26, P35, P36, P37, P38の表中に、無回答を含め%の表示が無いので、線をグラフ外に引いて数字を入れてもらいたい。	記載修正 グラフに線を引くなどして数字を記載します。	A
8	Ⅲ鹿児島市子どもの生活に関するアンケート調査結果の概要	素案P27及びP28の表中、民生委・児童委員とあるが民生委員・児童委員が正しい。	文言修正 素案の表現を「民生委員・児童委員」に修正します。	A
9	Ⅵ施策の概要	国の大綱である4つの柱に、本市の子ども・子育て支援事業計画がどのように連携しているのかがわかると、本市ならではの施策が、より明らかになると思う。	国の子供の貧困対策大綱と第二期鹿児島市子ども・子育て支援事業計画は、全ての項目において共通しているわけではありませんが、どの施策が関係するのか、説明書きを加えることとします。	A
10	Ⅴ計画の基本的考え方について	概要版P5下から1行目及び素案P42下から6行目の～第二期鹿児島市子ども・子育て支援事業計画に～「第二期鹿児島市子ども・子育て支援事業計画」と「」を入れる。	文言修正 概要版及び素案の表現を「第二期鹿児島市子ども・子育て支援事業計画」に修正します。	A
11	Ⅶ計画の推進にあたって	概要版P7上から4行目～あたっては、主な取組に掲げた～⇒素案P54 5行目～あたっては、施策の概要の主な取組に掲げた～素案のとおりとした方がよい。	文言修正 概要版の表現を「あたっては、施策の概要の主な取組に掲げた」に修正します。	A
12	その他	子どもの貧困対策の総合相談窓口を「こども福祉課」（216-1260）を最後に記載すると利用される方がわかりやすい。	生活に困っている子どもや家庭は背景に多様な問題を抱えており、様々な場面で関係する部署へ相談・手続に訪れる可能性があることから、こども福祉課で一元的に貧困の相談を受けるのではなく、市役所のどの窓口・部署に相談等に訪れても子どもの貧困問題の視点を持って対応する必要があると考えております。そのため、職員向けの研修に取り組むなど、この問題の職員への周知にも努めてまいります。なお、子ども・子育てに関する相談窓口の一覧表を計画素案に参考資料として掲載することとします。	A
13	Ⅰ計画策定にあたって	鹿児島市で生活していると、一般の市民は鹿児島市の貧困率が全国平均および県より高いことを認識しているか疑問に思う。全般的に言えることであるが、関係機関が連携して課題解決に取り組むのは当然であるとして、市民一人ひとりがこの事実を知り、普段の生活から問題意識をもって周りの状況に注意を配るなど市民同士も寄り添い合うような緩やかな絆が生まれるよう啓発すべきだと思われる。	本市ではこれまでも子どもの貧困対策講演会の開催や、子どもの貧困問題啓発冊子の作成など、機会を捉えて子どもの貧困問題の啓発に努めてまいりましたが、いただいたご意見も踏まえながら、引き続き子どもの貧困問題及び本市の子ども達の状況等について意識啓発に取り組んでまいります。	B
14	Ⅰ計画策定にあたって	リーディングプロジェクトとして位置付けることは良いことだと思う。だが、各家庭の状況に応じた柔軟な対応をするには、具体的に何をどうするかとか、相談できる体制をどう作っていくか等、細かな施策が必要になると思う。	賛同のご意見として承ります。支援を行うにあたっては、子どもや家庭の状況に応じたきめ細かい支援に努めてまいります。	B
15	Ⅰ計画策定にあたって	新型コロナウイルスにより収入が減る方や、再就職に悩まれる方が増えていると感じます。	新型コロナウイルス感染症による家庭への影響も考慮しながら、子どもの貧困対策に努めてまいります。	B
16	Ⅰ計画策定にあたって	コロナウイルスの拡大により子どもを取り巻く経済環境、社会環境の先行きが見えにくく不透明になってきました。そのなかでこの計画策定は非常に大切なことと思えます。形だけではなく、行動にうつせる実効性の高い計画が策定されることを望みます。	新型コロナウイルス感染症による家庭への影響は均一ではなく、より大きな影響を受けやすいのは以前より社会的に弱い立場に置かれていた子どもや家庭などであることから、各家庭の状況に応じた柔軟な対応に努めてまいります。	B

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
17	I 計画策定にあたって	妊娠・出産期から子どもの成長にあわせて、どの成長段階の子どもでも活用できる支援があることが望ましい。	子どもの貧困対策を推進するにあたっては、親の妊娠・出産期からの切れ目ない支援のほか、子どもの発達・成長に応じた支援に努めてまいります。	B
18	I 計画策定にあたって	子どもの貧困については世帯全体としての把握が重要と考えます。貧困の連鎖は家庭の経済状況だけの問題ではなく、その課題把握と解決に向けての施策も重要だと思います。	子どもの貧困問題の背景には、家庭の状況や生活環境、所得、雇用問題等の様々な要因が複雑に絡み合っており、家庭内の課題を早期に把握したうえで、適切な支援へつなぐ取組を推進してまいります。	B
19	II 子どもの貧困の状況	コロナ禍でなお格差が出ているのでは。	新型コロナウイルス感染症による家庭への影響は均一ではなく、より大きな影響を受けやすいのは以前より社会的に弱い立場に置かれていた子どもや家庭などであることから、支援を検討するにあたっては、各家庭の状況に応じた柔軟な対応に努めてまいります。	B
20	II 子どもの貧困の状況	一人親世帯となる理由の一つは、夫の妊娠育児や産後ホルモン等に関する知識不足によるすれ違いも大きいのではないかと思います。両親学級の父親参加推進や、男性の産休育休取得推進、時短や定時退社、昇進や転勤へ影響させないことなど強く進めてほしい。職場の上司や役員向けにも、社会や会社に子どもを育てる責任があるという意識改革や研修をしてほしい。ワークライフバランスが整えば、おのずと母子世帯が非正規雇用を選ばざるを得ない現状も変わってくると思う。	男性の育児参加につきましては、いただいた意見も参考にしながら、様々な機会を捉えて周知に努めてまいります。 また、本市では「鹿児島市イクボス推進同盟」を設立し、職場で共に働く部下・スタッフのワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の両立）を考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司（経営者・管理職）について取組を進めることに賛同していただく企業・団体にご参加いただいております。引き続きこれらの取組を進めてまいります。あわせて、労働局など関係機関と連携を図りながら、引き続き市内事業所の働きやすい職場づくりに向けた取組を進めてまいります。	B
21	II 子どもの貧困の状況	子どもの貧困の状況が、7人に1人、ひとり親家庭においては2人に1人という厳しい状況であるということ、この資料に目を通すまでは知らなかった。令和元年の時点での結果であるため、新型コロナウイルスによって多くの影響がある今は、調査するとより貧困の状況が増えているのではないかと思います。	新型コロナウイルス感染症による家庭への影響は均一ではなく、より大きな影響を受けやすいのは以前より社会的に弱い立場に置かれていた子どもや家庭などであることから、各家庭の状況に応じた柔軟な対応に努めてまいります。また、子どもの貧困及び本市の子ども達の状況等について、周知にも努めてまいります。	B
22	II 子どもの貧困の状況	世帯年収が平均的であっても食べるにも困る家庭があると感じます。生活費のやりくりなど、これまで家庭で自然と学習すべきと思われていたことを、地域社会全体で、幼い頃から教育に取り入れていかなければ、貧困の連鎖は止められないと思います。	子どもの貧困問題の背景には、家庭の状況や生活環境、所得、雇用問題等の様々な要因が複雑に絡み合っており、支援を行うにあたっては、子どもや家庭の状況に応じた対応に努めてまいります。また、子育てや貧困を家庭のみの責任とするのではなく、地域社会全体で問題を解決していけるよう、子どもの貧困対策に努めてまいります。	B
23	III 鹿児島市子どもの生活に関するアンケート調査結果の概要	特定妊婦や多子世帯などには家庭訪問型子育て支援を拡充して個別にサポートすべきと考えます。	養育支援が必要な家庭に、支援員（助産師）が訪問し、育児相談や栄養指導、育児の援助を行う育児支援家庭訪問事業を実施するなど、現在の家庭訪問支援を丁寧に行い、関係機関との連携を図りながら、必要な支援につなげてまいります。	B
24	III 鹿児島市子どもの生活に関するアンケート調査結果の概要	特に母子世帯が厳しい現状であることがわかる。今は様々な理由で母子家庭も増えてきていると思うので、助けが必要な家庭に十分な支援が行き届くことを願います。	支援が必要な家庭につながる取組を推進してまいります。	B

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
25	Ⅲ鹿児島市子どもの生活に関するアンケート調査結果の概要	ほとんどのアンケート結果には、あまり大きく差が無いように感じたが、学習塾の利用していない理由の所では、大きく差を感じた。理由が経済的な理由からが思っていた以上に多く驚いた。	「6施策の概要（1）学びの支援」において、家庭の状況にかかわらず、全ての子どもが質の高い教育を受けることができるよう取り組んでまいります。	B
26	Ⅲ鹿児島市子どもの生活に関するアンケート調査結果の概要	所得が低いので、色々な問題があるのでは。	子どもの生活に関するアンケート調査結果からは、経済的な問題のみならず、子ども及び保護者双方に多様な課題があることが分かりました。施策の推進にあたっては、国の子供の貧困対策大綱に規定する4つの柱を中心に、総合的かつ効果的に取り組んでまいります。	B
27	Ⅲ鹿児島市子どもの生活に関するアンケート調査結果の概要	調査結果をみると、大変子どもの生活の状況がわかります。この結果が様々な場面とつながってくるように思われました。	子どもの生活に関するアンケート調査から見える本市の課題も踏まえて、子どもの貧困対策に取り組んでまいります。	B
28	Ⅲ鹿児島市子どもの生活に関するアンケート調査結果の概要	手取り額が少ないと貧困率が上がるのかなと思った。手取り額が上がれば貧困率も下がると思うが、厳しいと思う。また、父子家庭より母子家庭の方が、子どもの貧困が多いのかなと思った。	「6施策の概要（3）保護者に対する職業生活の安定と向上に資するための就労の支援」において、保護者の就労支援にも取り組んでまいります。	B
29	Ⅳ調査結果からみる本市の課題	ひとり親世帯が子育てと仕事の両立がしやすいように職場・事業所にアプローチしていただきたい（助成金やいい取組の表彰・広報など）	本市では、仕事と生活を両立しやすい環境の整備に率先して取り組み、機運醸成とともに進めていただけた約80企業と「鹿児島市イクボス推進同盟」を設立しており、今後も企業・団体などへ機会あるごとに周知を行ってまいります。また、労働局など関係機関と連携を図りながら、引き続き市内事業所の働きやすい職場づくりに向けた取組を進めてまいります。	B
30	Ⅳ調査結果からみる本市の課題	経済的な困難を抱えた子どもや家庭が多いという結果になっていますが、4つの柱を中心に総合的に推進を図る必要がある。	国の子供の貧困対策大綱に規定する4つの柱を中心に、総合的かつ効果的に施策を推進してまいります。	B
31	Ⅳ調査結果からみる本市の課題	調査結果からみた課題に向けての十分な支援が少しでも早く行われると良いと思います。鹿児島市民の貧困が少しでも減っていくことを願います。	子どもの貧困対策推進にあたっては、子どものことを第一に考えた適切な支援を包括的かつ早期に講じるよう努めてまいります。	B
32	Ⅳ調査結果からみる本市の課題	子どもの学習面や生活面が少しでも平等になるために、貧困家庭に対する対策を少しでも伝えられたらなと感じた。知らない支援制度などが、必要としている家庭が利用しやすくなれば良いと思った。	様々な支援制度について、必要な方に情報が届くよう、適切な情報発信に努めてまいります。	B
33	Ⅳ調査結果からみる本市の課題	母子世帯では非正規雇用で働いている方が多く、就職・転職の支援を求める割合が多いという結果をみて、今まで以上に就職支援に力を入れる必要があるのかなと思います。	「6施策の概要（3）保護者に対する職業生活の安定と向上に資するための就労の支援」において、ひとり親家庭に対する就労支援にも取り組んでまいります。	B

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
34	IV調査結果からみる本市の課題	社会的に孤立しないように保護者への支援が必要だと思いました。	子どもの貧困対策を推進するにあたっては、保護者に対する支援も含めて取り組んでまいります。	B
35	V計画の基本的考え方について	「子育てをするなら鹿児島市」のキャッチフレーズは、分かりやすく、納得できる。この言葉を適切に活用してほしい。	賛同のご意見として承ります。また、「子育てするなら鹿児島市」のキャッチフレーズに見合うよう、子どもの貧困対策に取り組んでまいります。	B
36	V計画の基本的考え方について	子どもが第1とするなら、力一杯、子どもの教育の機会均等を計っていくべきです。	「6施策の概要（1）学びの支援」において取り組んでまいります。	B
37	V計画の基本的考え方について	難しい考え方だと思う。困っている家庭にどのように手助けをするのか・・・。保育所・幼稚園・学校などの連携も図りながら、社会全体で見ていく必要があると思う。そこにはまた声のかけ方一つでことが変わる可能性もあると思うので、配慮も必要となり、対応する者も苦労するだろうなあとと思った。全体的な声掛け？お知らせ？も学校を通じてでももっとしていけばいいのでは。	「7計画の推進にあたって」のとおり、保育所・幼稚園・学校等も含めた様々な関係機関と協働・連携し、子どもの貧困対策の推進に努めてまいります。	B
38	V計画の基本的考え方について	色々な面で支援活動があることは助かると思います。困っている家庭が気軽に相談できる場所が、より身近になるといいなと思います。	「6施策の概要（2）生活の安定に資するための支援」において、親・子どもが社会的に孤立せず、安心して毎日を過ごすことが出来るよう取り組んでまいります。	B
39	V計画の基本的考え方について	子ども達の未来や将来のことを長く考えているなど感じた。子どもたちみんなが、平等で生活環境に左右されることなく育っていったらなと感じた。そのためには、地域との協力もこれからとても大切な事だと思った。	「7計画の推進にあたって」のとおり、地域も含めた様々な関係機関と協働・連携し、子どもの貧困対策の推進に努めてまいります。	B
40	V計画の基本的考え方について	子どもは地域の一番の宝であり、生まれ育った環境に左右されることなく夢や希望を持てる社会の構築を目指していく必要があります。子どもの貧困対策の推進にあたり、社会問題であることを周知に努めるよう、活動が大事だと思います。	子どもの貧困対策の推進にあたっては、この問題が社会問題であることの周知に努めてまいります。	B
41	V計画の基本的考え方について	鹿児島市は子育てしやすい地域と考えていた。ですが、記載のとおり子どもの貧困問題は親の雇用問題にも直結していると思うので、直ぐに取り組んでいただきたいと思った。	「6施策の概要（3）保護者に対する職業生活の安定と向上に資するための就労の支援」において、保護者の就労支援にも取り組んでまいります。	B
42	V計画の基本的考え方について	子どものことを第1に考えることは良いことだと思うが、収入が少なく生活に困ってしまったり悩んでいる親の支援も大事なのではないかと思った。特に、乳幼児など親の手が必要な子たちは、自分で何もできないので、親が倒れてしまったりいなくなってしまうと、貧困率も高くなってしまおうと感じた。	「6施策の概要（3）保護者に対する職業生活の安定と向上に資するための就労の支援」において、保護者の就労支援にも取り組んでまいります。	B
43	V計画の基本的考え方について	子どもの貧困を考えるにあたり、フォーマルだけでなくインフォーマルにも焦点を当てた総合的な対策が必要だと思います。省庁をも超えた対策が求められていると感じます。	「7計画の推進にあたって」に基づき、分野を超えた様々な関係機関と協働・連携し、子どもの貧困対策の推進に努めてまいります。	B

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
44	V計画の基本的考え方について	子どもは世の「宝」だと思います。さまざまな要因から貧困状況にあるのかと思いますが、家庭内だけでなく、住む地域社会全体で課題解決するとともに、公的支援を包括的、効果的、早期に行っていく必要があると思います。	子どもは地域の一番の宝であり、子どもや家庭へ支援を行うにあたっては、社会的孤立に陥ることがないように、また子どもや家庭の状況に応じたきめ細かい支援に努めてまいります。	B
45	VI施策の概要	すべての子どもが同じように学べる場があるべき。金銭面の苦しい家庭は習い事にも行けず、学習面でも差が出てしまう。学校で放課後等を利用してサポートしてもらえたら。（学校の先生は多忙。OBの方などをお願いします。）	「6施策の概要（1）学びの支援」において、子どもの状況に応じた学習機会の提供などに取り組んでまいります。	B
46	VI施策の概要	家庭環境は把握できにくいので、家庭訪問は重要だと思う。	養育支援が必要な家庭に、支援員（助産師）が訪問し、育児相談や栄養指導、育児の援助を行う育児支援家庭訪問事業を実施するなど、引き続き現行での家庭訪問支援を丁寧に行ってまいります。	B
47	VI施策の概要	困難な状況にある子ども達の早期発見が重要だと思う。児童民生委員さんにも協力をあおぎ、学校との連携も図っていくべきではないか。取組についてはいろいろな方面から事業を組まれており、これをどのようにして伝え、どういにかか考えていく必要があると思う。また、孤立しないようにうまく見ていくことも大切かと思う。	「7計画の推進にあたって」のとおり、民生委員・児童委員や学校も含めた様々な関係機関と協働・連携し、子どもの貧困対策の推進に努めてまいります。	B
48	VI施策の概要	この全ての支援が必要な方達に十分に行き届けばよいと思います。	全ての子どもが生まれ育った環境に関係なく、心身を健やかに成長させるために、家庭内の課題を早期に把握したうえで、適切な支援へつなぐ取組を推進してまいります。	B
49	VI施策の概要	自己肯定感を養う活動、体験、外部教師による授業をどんどん組み込んでほしい。	「6施策の概要（1）学びの支援」において、子どもの状況に応じた学習機会の提供や様々な体験ができるよう、多様な側面から取り組んでまいります。また、各学校でも、引き続き、自己肯定感を育む取組を進めてまいります。	B
50	VI施策の概要	中学校では教師から「塾に行かなければ成績は上がらない」と言われ、小学校では「成績を上げるためには家で学習の見守りを」と言われた。貧困家庭においては、経済的、時間的余裕がない場合が多く、どちらも難しいと思われる。学校で十分な学力が養えないことが問題ではないか。また、家庭だけでなく放課後教室など学習支援を公的に行う必要がある。	「6施策の概要（1）学びの支援」において、子どもの状況に応じた学習機会の提供などに取り組んでまいります。	B
51	VI施策の概要	社会的孤立についてだが、小児科医や保健師は子育てのプロではあるが、親の心のケアまでできる人はなかなかいない。育児書通りの検診指導で傷付いた母親を沢山知っているし、私にも経験がある。特に子育て支援センターでは、毎日遊びながら気軽に先生方に相談でき、本当に息抜きの場所になった。「色んな子がいるから大丈夫。私達も共に成長を見守っていききたいから、また遊びに来てね。お母さんも無理しないでね」と親身になってくれた。自然な横のつながりもできた。一人で育児しているんじゃないと気付かせてくれる場所がもっと沢山あるといい。特に乳幼児期は孤立しがち。病院等にしか行かないし、誰か大人と話したい。不安だらけで虐待はすぐ隣の世界。産婦人科や小児科、産後健診などで、相談場所などをもっと周知してほしい。	本市では、子育て家庭が抱える悩み等に対して支援等を行う、相談体制の充実に努めてきており、地域子育て支援センターなどの子育て支援施設の情報を含め、市民のひるばや市のホームページ、子育てガイド、子育て応援ポータルサイト（夢すくすくねっと）のほか、母子健康手帳交付時や転入届の際など機会を捉えて情報発信を行っているところです。今後も、子育て中の保護者の社会的孤立がおきないように、子育て世代包括支援センター機能の充実と、医療機関など関係機関との連携を図りながら、さらなる情報発信に努めてまいります。	B

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
52	VI施策の概要	施策として体験活動の場の提供や支援サービスがたくさんあるので、これらの支援について、すべての人がわかるようにもっと情報提供が必要だと思います。	各施策・事業に取り組む中で、必要な方に情報が届くよう情報発信にも努めてまいります。	B
53	VI施策の概要	厚生労働省の生活困窮者自立支援制度では、昨年度より「学習支援事業」は「学習生活支援事業」へと名称が変更されました。学習だけでは自立が難しいこと、生活支援への介入が必要不可欠、学習の中で「ソーシャルスキルトレーニング」も必要なことで明記されました。SSW活用事業と重なる部分はありますが、より他分野・他視点から子どもの自立を促す必要があると考えています。	学習支援はもちろんのこと、子どもの居場所づくり、多様な生活体験の機会、生活・育成や進路選択についての助言など、幅広い面での支援メニューづくりに努めてまいります。	B
54	VI施策の概要	ひとり親家庭（特に母子世帯）の保護者の就労支援が大切なのではと思った。	「6施策の概要（3）保護者に対する職業生活の安定と向上に資するための就労の支援」において、ひとり親家庭に対する就労支援にも取り組んでまいります。	B
55	VI施策の概要	家庭の状況にかかわらず、全ての子どもたちが学びや学習の機会を得られるように様々な体験の場、支援サービスが提供されること、それらが受けやすいものであること、そして周知されることを望みます。	「6施策の概要（1）学びの支援」を推進するにあたっては、必要な方に支援が届くよう、きめ細かな対応や適切な情報発信に努めてまいります。	B
56	VI施策の概要	この計画の推進や様々な省庁を超えた横断的な変革ができることを期待したいです。	「7計画の推進にあたって」に基づき、分野を超えた様々な関係機関と協働・連携し、子どもの貧困対策の推進に努めてまいります。	B
57	VII計画の推進にあたって	各団体が一致協力して取組を推進することが大事です。	各主体が協働・連携して各種の取組を推進してまいります。	B
58	VII計画の推進にあたって	計画の推進にあたっては行政はもちろんのこと、県・市社会福祉協議会・民生委員・児童委員・女団連・校区社協・コミュニティ協・町内会（公民館）等の協力を得て推進していくことが大事であると思います。	「7計画の推進にあたって」のとおり、様々な関係機関と協働・連携し、子どもの貧困対策の推進に努めてまいります。	B
59	VII計画の推進にあたって	家庭だけ、親だけ子どもだけではどうにも出来ないことがたくさんあるのが現状だと思います。社会全体での支援により、より多くの子ども達の明るい未来が守られることを願うばかりです。	子どもの貧困対策推進にあたっては、子育てや貧困を家庭のみの責任とするのではなく、地域社会全体で解決するという視点で取り組んでまいります。	B
60	VII計画の推進にあたって	協働・連携して取り組むことがいちばん重要でいちばん難しいと思われる。	「7計画の推進にあたって」のとおり、様々な関係機関と協働・連携し、子どもの貧困対策の推進に努めてまいります。	B
61	VII計画の推進にあたって	計画の推進にあたっては、多くの主体が一体となって取組まなければならないため、協働・連携を密にして推進していったほしいです。	「7計画の推進にあたって」のとおり、様々な関係機関と協働・連携し、子どもの貧困対策の推進に努めてまいります。	B

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
62	VII計画の推進にあたって	民間団体・NP0・ボランティア団体は、先進的な取組をしていたり、制度の隙間を埋める活動をしています。当事者の視点、先進的な視点、社会的事業（経済・活動の両立）の視点があります。推進委員会の業界団体にはその専門性、民間団体には上記視点で話してもらい、公募市民も含め、多様な観点で関連な意見が飛び交う委員会になって欲しいと思います。	「7計画の推進にあたって」に基づき、多様な観点で関係機関と協働・連携し、子どもの貧困対策の推進に努めてまいります。	B
63	VII計画の推進にあたって	全ての子どもの健やかな育成のために、各主体が連携して計画を推進し、困ったときはすぐに支援を受けて改善することができたり、悩む前に各主体に相談できるような環境が整っていくといいなと思う。	子どもの貧困対策の推進にあたっては、「7計画の推進にあたって」のとおり、関係機関と協働・連携するとともに、支援制度など必要な方に情報が届くよう、各取組の周知にも努めてまいります。	B
64	VII計画の推進にあたって	施策を掲げる市当局をはじめ、関係機関（民生・児童委員等）、民間団体等がそれぞれ役割を果たしながら、手を携えあうことが必要だと思います。	「7計画の推進にあたって」のとおり、民生委員・児童委員や民間団体も含めた関係機関と協働・連携し、子どもの貧困対策の推進に努めてまいります。	B
65	その他	産後、子どもと自宅での生活は嬉しい幸福な時でもあるが、何気ない話し相手が必要な時もあった。助産師さんの家庭訪問はありがたく、精神的にもとても救われた。一度だけでなく、何回目かまでは無料であることを助産師さんに聞き、利用させていただいた。その情報をもっと早期に多くの妊婦さんや、お母さん方に伝わるような取り組みをしていただきたい。	母子健康手帳交付時や出産後の産科医療機関入院中、新生児訪問等の際など、今後も様々な機会を捉えて情報提供に努めてまいります。	B
66	V計画の基本的考え方について	令和2年度から、第2期の支援計画がスタートしているとありますが、第1期はどんなことをしてどのような結果が得られたのかを紹介してもいいと思います。加えて、第2期の支援計画はどのようなことを行っているのか具体例を載せることが必要だと思います。	鹿児島市子どもの未来応援プランは第二期鹿児島市子ども・子育て支援事業計画のリーディングプロジェクトとしての位置づけ（第二期鹿児島市子ども・子育て支援事業計画に含まれる）となることから、第一期及び第二期の計画内容については子ども・子育て支援事業計画の中で触れられており、改めて本プランの中で触れてはいたるところです。	C
67	I計画策定にあたって	計画策定における子どもの貧困の状況はよくわかるが、では貧困率は何%になるのが適正なのか？また、鹿児島市は計画の4年間で何%にしたいのか設定されていません。具体的な目標数値を定めなければ計画終了後に効果があったのかどうかを市民としてどのように判断すれば良いのでしょうか？このままでは景気や社会情勢だけに振り回され、貧困率の数値だけが一人歩きするだけで、鹿児島市の施策による効果があっても子どもの貧困率の数値は変えられないと考えられます。	相対的貧困率は家庭の可処分所得を参考にすることから、給与所得や社会保障による給付等、鹿児島市の施策以外による影響も大きいものです。また、子どもの貧困対策を推進するにあたり、平成29年度に子どもの生活に関するアンケート調査を実施いたしましたが、これは施策推進に本市の現状把握や課題の整理等が必要であると考えたからであり、現在のところは相対的貧困率の目標値を設定することは考えていないところです。今後、同アンケートの再調査の必要性の検討や国が一定の目標を示した場合など、これらを総合的にみて、何らかの指標を検討していきたいと考えております。	D
68	III鹿児島市子どもの生活に関するアンケート調査結果の概要	調査対象（サンプル）をもう少し広げた方がデータとしての信頼性がある程度確保できるのではないか。市内の保育所・幼稚園の子ども及びその保護者に対してもある程度の調査は実施できないか。	調査対象を小学5年生・中学2年生の子ども及びその保護者とした理由は、子どもの声を拾う事を考え、自分で答えることが可能な年齢で検討したこと、他都市においても小学5年生・中学2年生を調査対象としているところが多く、他都市との比較検討が可能であると考えたことなどです。今後、同様の調査を実施する際には、いただいたご意見も参考にしながら調査対象の検討を行ってまいります。	D
69	III鹿児島市子どもの生活に関するアンケート調査結果の概要	家庭の経済状況により、子どもの学習時間や学習の理解度、学校以外での学習環境などに差が出ており、保護者が子どもと一緒に過ごせなかったり、朝食を食べない子どもが多い状況を、勉強ができる施設や朝食が食べられる「子ども食堂」のようなことはできないでしょうか。	いただいたご意見も参考にしながら、子どもの貧困対策に取り組んでまいります。	D

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
70	Ⅲ鹿児島市子どもの生活に関するアンケート調査結果の概要	アンケートとる年齢の幅を広げる	子どもの生活に関するアンケート調査の調査対象を小学5年生・中学2年生の子ども及びその保護者とした理由は、子どもの声を拾う事を考え、自分で答えることが可能な年齢で検討したこと、他都市においても小学5年生・中学2年生を調査対象としているところが多く、他都市との比較検討が可能であると考えたことなどです。今後、同様の調査を実施する際には、いただいたご意見も参考にしながら調査対象の検討を行ってまいります。	D
71	Ⅲ鹿児島市子どもの生活に関するアンケート調査結果の概要	アンケートの回収率が高い。もっと具体的に困っていること、親も子ども達の思いが分かれば分かりやすい。	今後、同様の調査を実施する際には、いただいたご意見も参考にしながら調査項目の検討を行ってまいります。	D
72	Ⅳ調査結果からみる本市の課題	子ども食堂のように学習支援の場が拡充するように政策誘導していただきたい。	「6施策の概要（1）学びの支援」において、いただいたご意見も参考にしながら、子どもの状況に応じた学習機会の提供に努めてまいります。	D
73	Ⅵ施策の概要	中3で高校までは医療費無料とかも必要です。	いただいたご意見も参考にしながら取り組んでまいります。 なお、令和3年4月から、市町村民税非課税世帯については、18歳に達する日以降の3月31日まで（高校生に属する年齢）に対象を拡充するとともに、現物給付（窓口負担ゼロ）といたします。	D
74	Ⅵ施策の概要	令和2年1月から国内に新型コロナウイルス感染症が発生した。子どもの貧困対策推進計画の中に、新たな事業名がないので、仕事を打ち切られた母子家庭への支援対策を考えてみてもらいたい。	令和2年度は新型コロナウイルス対策として、ひとり親世帯臨時特別給付金の支給を行うなど、ひとり親家庭への支援にも取り組んだところですが、令和2年度限りの事業であることから本計画へ掲載はしておりません。また、子どもの食の確保という視点から、市内の子ども食堂と連携した「地域の飲食店子ども食堂プロジェクト」にも取り組んでいるところです。引き続き、いただいたご意見も参考にしながら、社会情勢等も踏まえ、必要な支援について検討してまいります。	D
75	Ⅵ施策の概要	子どもや家庭の課題を適切な支援へつなぐために、それぞれアクセスしやすい効果的な方法（ワンストップ窓口など）を具体的に検討してもらいたい。	いただいたご意見も参考にしながら、子どもの貧困対策に取り組んでまいります。	D

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
76	VI施策の概要	<p>地域の飲食店子ども食堂プロジェクトについて、助成の対象が「かごしまこども食堂地域食堂ネットワーク」と限定されるような計画ですが、なぜ特定の団体のみを対象とした助成なのでしょう？またこの施策が子どもの貧困対策であるのなら、現在子ども食堂がない地域、子ども食堂へ行かない人との公平性平等性はどうか担保されるのでしょうか？</p> <p>非公開であっても誰に何個お弁当を配ったのか鹿児島市は把握管理するのでしょうか？把握管理しないのであれば、この施策が子どもの貧困対策でありどのような効果があったのか計画終了後にどのように判断するのか分かり難いです。既に昨年から実行しているようですが、誰にでも配っている感がしますし、チケットを配ることが目的化されて本来の目的である子どもの貧困対策からはズレていると考えます。さらに「かごしまこども食堂地域食堂ネットワーク」には加入の条件が基本的にありません。誰でも加入できる組織であるのであれば間接的ではあると思いますが、鹿児島市が本来目指すべき子どもの貧困対策と考え方が違う団体もこの施策を利用し、場合によっては悪用されることも想定されます。鹿児島市は今後「かごしまこども食堂地域食堂ネットワーク」の加入条件について指導や管理を行っていく予定でしょうか？予定がないのであれば単にお弁当チケットをばら撒く施策になってしまうと考えられます。子育て家庭の負担軽減及び地域経済の活性化が目的であれば、保育園や幼稚園、小学校、中学校で配布する方が適切だと考えますが、そのような計画や予定はあるのでしょうか？</p>	<p>地域の飲食店子ども食堂プロジェクトは、新型コロナウイルス感染症対策として、子ども食堂への支援を通して様々な事情を抱える子ども達の食を支え、居場所を提供することで、子どもの健全な成長を地域の繋がりの中で支援することを目的に、令和2年度に立ち上げたものです。新型コロナウイルス感染症の影響は、子育て家庭においてより影響を受けていると考えられることから、子どもの貧困対策の一環ではありますが、貧困家庭に限らず、広く子育て家庭に対する支援として取り組むことで、貧困の予防にもつなげていきたいと考えております。</p> <p>事業実施にあたっては、子ども食堂実施者で構成される「かごしまこども食堂・地域食堂ネットワーク」と連携することで、より効果的な対応が望めることから、結果として当ネットワークのみが助成の対象となりますが、子ども食堂においても新型コロナウイルス感染症の影響を受け、これまで通りの活動ができなくなっていたことから、地域で子どもや家庭がつながる活動を支援することで、新型コロナウイルス下においても、子どもや家庭が地域で孤立しないよう、子ども食堂に対する支援の一環としても取り組んだところです。子ども食堂の無い地域や、子ども食堂へ行かない方との不公平感は一定程度否めませんが、この取組をひとり親家庭の方々へ周知し、また教育委員会や各保健センター、民生委員・児童委員さんなど、子どもや家庭を支援する機関に対しても周知したことで、これまで子ども食堂を利用したこと無かった方が新たに子ども食堂を利用されたり、支援者同士がつながるなどの効果も報告されております。</p> <p>また、事業実施にあたっては、各子ども食堂においてチケットの配付先や枚数・配付チケットの使用状況等の情報管理を行っており、同ネットワークを通して本市も情報共有を行っているところです。さらには、この事業に限らず、子どもの貧困対策の取組は予防的側面も含まれることから効果測定が難しいところですが、各子ども食堂からは個別のケースにおいて、チケットを活用したことにより、地域で孤立していた家庭の支援につながった事例の報告や、支援者同士の新たなつながりなど、多様な面での効果があると考えております。</p> <p>なお、ネットワークの加盟に関して、市は規制や指導等を行う立場ではなく、またこのチケット配付は地域の中で子どもを支援する機運を醸成し、かつ子ども食堂支援も目的であることから、保育園や学校等での実施は考えていないところです。</p>	D
77	VI施策の概要	<p>県内の不登校・虐待・いじめ認知件数は年々増え（令和元年度児童生徒の問題行動・不登校（鹿児島県公立高校）の状況について）、併せて全日制高校を選択しない（できない）子どもも増加傾向（2020年度進路を切り拓く 鹿児島県人権同和教育研究協議会）にあります。高校中退率に至っては全国ワースト1位と言われております。全日制高校に行かない子どもは、高校（バイト）と家の往復のみで、引きこもりが長期化したり、社会生活に参加しなくなります。義務教育を終え支援が薄く、実態も多様で、将来を決める大切な時期ですが、放置すると貧困の再生産に大きく影響が出ます。ピンポイント支援や状況把握をぜひご検討ください。</p>	<p>子どもの貧困問題は、子どもに様々な影響を与えることから、いただいたご意見も参考にしながら、状況把握に努め、対策に取り組んでまいります。</p>	D

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
78	VI施策の概要	教育現場ではICT活用（GIGAスクール構想）事業があり、一人一台の機器活用を推進しています。不登校の児童（貧困の可能性が有）へ学習を届ける、様子を見守る、発達や学習習熟度に応じた学び提供の点でICT活用は有効です。ぜひ、活用した取り組みを推進してほしい。	全ての児童生徒がICTを活用して学習できる環境を整え、積極的な活用が図られるよう努めてまいります。いただいたご意見も参考にしながら、不登校児童生徒へのICT機器の活用について研究してまいります。	D
79	VI施策の概要	対象児童の多くは内向的でコミュニケーションに偏りがあり体験事業への参加ハードルが高い傾向にあります。身近に行ける場所（サードプレイス）がある、不登校や引きこもり傾向の子どもや親御さんが集える場所がある等、当事者に寄り添った事業もぜひご検討ください。 （参考）本県は優良公民館表彰が全国2位（本県教育の特色を表す各種データ集）で施設活用が活発。 国立青少年教育振興機構・・・引きこもり・不登校への体験機会提供を行う。 もいもい（金山ランチ）・・・15～39歳の居場所の提供	これまでも子どもの貧困対策を推進する中で、子ども食堂など地域の子どもの居場所について側面的支援を行ってきており、今後につきましても、いただいた意見も参考にしながら検討してまいります。	D
80	VI施策の概要	家庭での学習が困難な子どもが、学習をサポートしてもらえる場がもっとたくさんあったらよいと思います。	いただいたご意見も参考にしながら、子どもの貧困対策に取り組んでまいります。	D
81	VI施策の概要	切れ目のない支援の為に、産科などにもサービスに関する情報を設置してあると良いと思われる。学びの支援として、市の施設などで不要になった知育玩具などがあれば、経済的に支援を要する家庭に提供するような取り組みがあっても良いように思う。	賛同のご意見として承ります。今後とも、産科医療機関等と連携を図りながら、情報提供に努めてまいります。 また、「6施策の概要（1）学びの支援」において、いただいたご意見も参考にしながら、子どもの貧困対策に取り組んでまいります。	D
82	VII計画の推進にあたって	常にまわりのサポートが必要	子どもや家庭が社会的孤立に陥ることのないよう、いただいたご意見も参考にしながら、子どもの貧困対策に取り組んでまいります。	D
83	その他	冒険遊び場（プレイパーク）の設置を検討いただきたい。	「6施策の概要（1）学びの支援」において、いただいたご意見も参考にしながら、子どもたちが様々な体験ができるよう、多様な体験活動の場の提供に努めてまいります。	D
84	その他	無料で利用できる子ども食堂を増やし、孤立しないような環境を作ったり、そこで働けるような支援があればいいと思います。団らんが家族で無理でも他人同士集ってにぎやかにすごせたら子ども達が元気にならないでしょうか。	子ども食堂は、地域の中で子どもの健全な成長を見守る取組であることから、これまでも側面的支援を行ってきたところです。今後につきましても、子ども食堂のような子どもの居場所が地域に増え、地域で子どもを見守り育てる機運が醸成されるよう、引き続き検討してまいります。	D
85	その他	子育て支援センターでパブリックコメント募集とのお知らせがあり、記入しましたが、内容や記入欄が詳細すぎ、日々子育てで手一杯の親には記入が大変でした。もう少し記入しやすい説明、記入用紙になると、よりたくさんの意見が集るのではないかと感じました。また、パブリックコメントですので、支援センター等だけでなく、市民のひろば等でより広くの方の目に留まるよう、工夫していただけたら良いかと思えます。	パブリックコメントにつきましては、市内の公共施設や子育て支援施設に配置したほか、市民のひろばや市ホームページでもお知らせしたところですが、いただいたご意見も参考にしながら、より多くの方が意見を提出しやすくなるよう努めてまいります。	D

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
86	I 計画策定にあたって	「子どもの貧困対策推進計画」を「第2期鹿児島市子ども・子育て支援事業計画」のリーディングプロジェクトに位置付けたことは高く評価できる。	賛同のご意見として承ります。	E
87	I 計画策定にあたって	よい	賛同のご意見として承ります。	E
88	I 計画策定にあたって	等価可処分所得の算出の妥当性が今一分かりません。なぜ√で割るのか等です。	等価可処分所得の算出については、厚生労働省「国民生活基礎調査」における貧困率の算出方法を基礎としています。「国民生活基礎調査（貧困率）よくあるご質問」では「世帯の可処分所得はその世帯の世帯人員数に影響されるので、世帯人員数で調整する必要があります。（途中省略）～生活水準を考えた場合、世帯人員数が少ない方が生活コストが割高になることを考慮する必要があります。このため、世帯人員数の違いを調整するにあたって「世帯人身数の平方根」を用いています。」と説明されています。なお、等価可処分所得の中央値の半分を貧困線とすることは、OECD（経済協力開発機構）においても採用されている考え方です。	E
89	I 計画策定にあたって	等価可処分所得の半半を貧困線とすることは、正しいのですか。240÷2で120万円以下のことですか。		E
90	I 計画策定にあたって	子どもの人数で貧困線を考えるのはどうでしょうか。		E
91	I 計画策定にあたって	子どもの貧困の原因の大半は親の無計画、無責任、余裕の無さが原因では？	子どもの貧困対策を推進するにあたっては、保護者に対する支援も含めて取り組んでまいります。	E
92	I 計画策定にあたって	増税の影響で学習用品、欲しいものが買えないなど子どもの幸福度が下がっている気がする。	ご意見として承ります。	E
93	I 計画策定にあたって	難しい問題だとは思いますが、未来のある子ども達への希望になればと思います。	賛同のご意見として承ります。	E
94	I 計画策定にあたって	夢や希望を持つことの出来る状態でいられるようにするには、地域社会全体で解決するという意識を強く持ち、子どものことを第1に考えた適切な支援が必要です。計画そのものは大いに賛成です。	賛同のご意見として承ります。	E
95	I 計画策定にあたって	最初から最後まで、難しい言葉が使われており、読みたいと思える文章ではないと思います。 これでは、計画の趣旨が一部の市民にしか伝わらないのではないのでしょうか。本当に、子どもの貧困について考えたい、地域全体で取り組んでいきたいと計画するならば、より多くの市民の目に留まり、読んでもらい、意見を募集できるように計画策定をしていくように望みます。	ご意見として承ります。なお、子どもの未来応援プランをはじめ、子どもの貧困問題の周知に努めてまいります。	E

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
96	I 計画策定にあたって	「日本の7人に1人の子どもが貧困状態にある」ということにまず驚いた。貧困はいつの時代にもあり得ることだろうと思うので、妊娠・出産期から切れ目なく、計画を立てて支援する、先導的に推し進めるといったことについてはとても有意義なことだと思う。	賛同のご意見として承ります。	E
97	I 計画策定にあたって	「第二期鹿児島市子ども・子育て支援事業計画」にリーディングプロジェクトとして行う。令和6年度までの4ヶ年計画であり綿密な計画で施行して戴きたいです。	ご意見として承ります。	E
98	I 計画策定にあたって	子どもの貧困問題はやはり家庭の中だけで解決できることではなく外からの支援、援助、地域社会全体で解決するという強い意識が大切だと思う。まずは、自分の身近なところに貧困家庭で困っている人達が多くいるということを知ること大切だと思う。	ご意見として承ります。子どもの貧困対策の推進にあたっては、地域社会全体で解決するという意識を強く持ち、子どものことを第一に考えた取組を行ってまいります。また、本市の状況等について多くの方々に知っていただけるよう、周知にも努めてまいります。	E
99	I 計画策定にあたって	貧困に陥ることのないよう様々な手当制度があり、良いことだと思う。ですが、私も母子扶養手当を受けており、助けられた反面、給料が上がっても年金・保育料なども同時に上がるので苦しい時期もありました。そういう思いをしている世帯もあるのでは??と思います。	ご意見として承ります。	E
100	I 計画策定にあたって	現在、そして今から生まれてくる子どもたちが、自分の家庭環境に左右されずみんなと同じ生活・環境で育っていけるよう、そして夢や将来の希望の為にしっかりと考えられた計画策定だと感じた。	賛同のご意見として承ります。	E
101	I 計画策定にあたって	良いです。	賛同のご意見として承ります。	E
102	I 計画策定にあたって	貧困が子どもの将来にまで影響している。本来、平等であるべきことが不平等になっているのであれば、少しでもこれを是正すべきであり、計画策定には賛同します。	賛同のご意見として承ります。	E
103	I 計画策定にあたって	子どもの貧困状況が、ひとり親家庭がふたり親家庭より高く、現在は新型コロナウイルスによる社会生活への影響が生じており「子どもの貧困対策推進計画」は良い取組だと思うので4ヶ年計画ではなく、ずっと取組んでほしいと思います。	賛同のご意見として承ります。	E
104	I 計画策定にあたって	今なお貧困率が高いということ、特に1人親世帯に高いこと、地域社会全体で解決すべきことなど、納得しました。コロナの影響も考えられ、ぜひ取り組んでいただきたいと思う。	賛同のご意見として承ります。	E
105	I 計画策定にあたって	コロナ禍で、より子どもの貧困化が懸念されるため、本当に援助が必要な子どもやひとり親世帯に活かしてほしいです。	ご意見として承ります。新型コロナウイルス感染症による家庭への影響は均一ではなく、より大きな影響を受けやすいのは以前より社会的に弱い立場に置かれていた子どもや家庭などであることから、各家庭の状況に応じた柔軟な対応に努めてまいります。	E
106	I 計画策定にあたって	日本の7人に1人の子どもが貧困状態にあるのは驚いた。新型コロナウイルスの影響で、非正規労働をされている方々は、さらに厳しい状況が続くと思った。	ご意見として承ります。新型コロナウイルス感染症による家庭への影響は均一ではなく、より大きな影響を受けやすいのは以前より社会的に弱い立場に置かれていた子どもや家庭などであることから、各家庭の状況に応じた柔軟な対応に努めてまいります。	E

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
107	I 計画策定にあたって	子どもの貧困問題は社会全体として取り組むべき問題だと思うので、計画策定に期待したいと思いました。	賛同のご意見として承ります。	E
108	I 計画策定にあたって	子どもの貧困の状況をみんなで理解し、子どもたちが夢や希望をそがれずに前向きな気持ちで夢や希望をもって成長していけるように、この計画策定はとても子どもたち、貧困家庭などにとって良い取り組みだと思う。	賛同のご意見として承ります。	E
109	I 計画策定にあたって	貧困率の数字を見て、日本も意外と貧困なんだと感じた。将来を担う子どもたちが、健康で生活するためには、今回の計画はとても良いと思う。この計画で貧困率が0%に近づければいいなと思った。	賛同のご意見として承ります。	E
110	I 計画策定にあたって	方針は理解できたが、具体策がわかりづらい印象がありました。	ご意見として承ります。「6 施策の概要」に基づき、具体的な取組に努めてまいります。	E
111	I 計画策定にあたって	令和元年11月20日に設立したNPO法人で、体の不調やいじめ等で学校に行きづらくなっている子どもたちを受け入れている団体です。ビルの一室をかりて活動しておりますが、平日にフルで通って頂くには1ヶ月4万円かかってしまい、そこを払えるご家庭しか、子どもを通わせられない現状を変えていきたいと思っています。	ご意見として承ります。	E
112	I 計画策定にあたって	子どもの貧困は社会問題であると思います。「子どもの貧困対策の推進に関する法律」の改正法の趣旨に賛同するとともに、市当局が貧困対策の効果的推進を図ろうとプラン策定することに敬意を表します。	賛同のご意見として承ります。	E
113	I 計画策定にあたって	子育てや貧困を家庭のみの責任とするのではなく、地域社会全体で解決するという意識を強く持つことはとても大切だと思います。	賛同のご意見として承ります。	E
114	II 子どもの貧困の状況	奨学金の返済免除を拡充して、高校・短大・大学等への進学を支援してほしい。	国・県の給付型奨学金が拡充されつつあることから、ご意見として承ります。	E
115	II 子どもの貧困の状況	小中学校の数に比べてスクールソーシャルワーカーとスクールカウンセラーの数が少ないので増員していただきたい。	スクールソーシャルワーカーについては、令和2年度から2人増員しております。	E
116	II 子どもの貧困の状況	就学援助率が鹿児島県全体より市が高いということが分かり、驚いている。	ご意見として承ります。	E

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
117	Ⅱ子どもの貧困の状況	7人に1人が120万円以下の生活で、母子家庭は50%の子供が120万円以下ということでしょうか。あまりにも厳しい現実には驚きばかりです。	子どもには所得がありませんが、その子どもが属している世帯の等価可処分所得が122万円未満ということです。	E
118	Ⅱ子どもの貧困の状況	目に見えない貧困の状況の把握の難しさを感じます。	ご意見として承ります。なお、子どもの貧困問題は見えにくいと言われておりますことから、引き続きこの問題の周知にも努めてまいります。	E
119	Ⅱ子どもの貧困の状況	平成24年を境にして減少していることは、ある程度の効果があったととらえてよい。	ご意見として承ります。	E
120	Ⅱ子どもの貧困の状況	親世代が「金」と「税」の勉強、教育を怠っているから貧困になるのでは？お金を汚いと思っているからお金が遠ざかり子どもの貧困があると思う。	子どもの貧困対策を推進するにあたっては、保護者に対する支援も含めて取り組んでまいります。	E
121	Ⅱ子どもの貧困の状況	知的、精神的に何らかの障がいがある親は大丈夫なのか？	子どもの貧困対策を推進するにあたっては、保護者に対する支援も含めて取り組んでまいります。	E
122	Ⅱ子どもの貧困の状況	育ちざかりに食べられない状態にあるという事は胸がしめつけられます。	ご意見として承ります。	E
123	Ⅱ子どもの貧困の状況	一番大事な施策である。力を入れてほしい。	賛同のご意見として承ります。	E
124	Ⅱ子どもの貧困の状況	違う県からの転入ですが、鹿児島市に来てから貧困というイメージもわからなかったが、全国において貧困率が高いことに驚いた。だが、平成24年後はわずかであるが貧困率が減少しており、なぜ減少しているのかは疑問に思った。全年齢層のうち、子どもの貧困が多いことには悲しい気持ちになった。	ご意見として承ります。	E
125	Ⅱ子どもの貧困の状況	母子家庭・父子家庭の世帯の貧困率が48.1%、2人に1人が相対的貧困状態であるというデータを見て驚きました。	ご意見として承ります。	E
126	Ⅱ子どもの貧困の状況	とても悲しく、厳しい状況であることが分かる。こんなにもたくさんの人たちが貧困で苦しんでいるのだと思うと子育て中の身としてとても胸が痛く、他人事と思えない。	ご意見として承ります。全ての子どもが生まれ育った環境に左右されることなく、現在から将来の生活にわたり、夢や希望を持てる社会の構築を目指して、子どもの貧困対策に取り組んでまいります。	E

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
127	Ⅱ子どもの貧困の状況	調査結果を表にしてもらえると分かりやすくて良いと思います。	ご意見として承ります。	E
128	Ⅱ子どもの貧困の状況	自分が思っている以上に貧困の状況は多いのだと思った。また大人1人である世帯になるとさらに多くなり、とても厳しい状況というのが分かった。	ご意見として承ります。また、子どもの貧困及び本市の子ども達の状況等について、周知にも努めてまいります。	E
129	Ⅱ子どもの貧困の状況	子どもの貧困は一時より落ち着いているが、少子化のせいもあり、代わらず厳しい状況であると思う。	ご意見として承ります。	E
130	Ⅱ子どもの貧困の状況	貧困の定義にもよるのだと思いますが、正直、貧困率は思っていたより大きいという印象です。ただ、ひとり親世帯は昔に比べると増えているような気がします。少しでも貧困率を減らす対策は必要と感じます。	賛同のご意見として承ります。また、子どもの貧困及び本市の子ども達の状況等について、周知にも努めてまいります。	E
131	Ⅱ子どもの貧困の状況	貧困により中学卒業後の進学率が生活保護世帯の子ども達の進学率が低くなっている状況で、せめて高校までは進学できるように援助ができればと思います。	高等学校への進学については、生業扶助の高等学校等就学費にて対応しております。	E
132	Ⅱ子どもの貧困の状況	まだ貧困状態の家庭が多いこと、1人親家庭は特にその割合が多いことが分かったが、「貧困」がどのような計算で出されているのかの説明が先にあればと思う。	ご意見として承ります。なお、素案3～4ページで子どもの貧困率について記載しております。	E
133	Ⅱ子どもの貧困の状況	人口が減っているにもかかわらず、生活保護世帯が増えているため、連鎖を受けていないか、連鎖を止めるためにも期間を定めるなどの施策を作り、子どもたちの将来の意欲につなげてほしいです。	ご意見として承ります。なお、生活保護は最低限度の生活を保障するものであり、保護を要しない状態になるまでは生活を保障する必要があることから、予め期間を定めて保護を適用することは適切でないと考えます。	E
134	Ⅱ子どもの貧困の状況	日本の7人に1人の子どもが貧困状態にあるのは驚いた。新型コロナウイルスの影響で、非正規労働をされている方々は、さらに厳しい状況が続くと思った。	ご意見として承ります。新型コロナウイルス感染症による家庭への影響は均一ではなく、より大きな影響を受けやすいのは以前より社会的に弱い立場に置かれていた子どもや家庭などであることから、各家庭の状況に応じた柔軟な対応に努めてまいります。	E
135	Ⅱ子どもの貧困の状況	7人に1人が貧困状態にあるということが衝撃ですが、更に1人親世帯の2人に1人が貧困の状態にあるということで、何か対策をしなければならぬと感じました。	賛同のご意見として承ります。また、子どもの貧困及び本市の子ども達の状況等について、周知にも努めてまいります。	E
136	Ⅱ子どもの貧困の状況	1人親だと、家のことと仕事のことを両立するのは少し厳しいのかなと感じた。どちらかを諦めてしまうと、さらに貧困率が上がってしまうと思うので、政府の手厚い支援で、現在の貧困状況が良い方にいけば良いと思う。	ご意見として承ります。全ての子どもが生まれ育った環境に左右されることなく、現在から将来の生活にわたり、夢や希望を持てる社会の構築を目指して、子どもの貧困対策に取り組んでまいります。	E

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
137	Ⅱ子どもの貧困の状況	保育料の値下げ 働いても保育料の支払いがあるため厳しいです。	ご意見として承ります。	E
138	Ⅱ子どもの貧困の状況	貧困のとらえ方だと思いますが、片親だけと判断するのも疑問に感じました。	ご意見として承ります。子どもの貧困問題の背景には、家庭の状況や生活環境、所得、雇用問題等の様々な要因が複雑に絡み合っており、支援を行うにあたっては、子どもや家庭の状況に応じた対応に努めてまいります。	E
139	Ⅱ子どもの貧困の状況	7人に1人が貧困というニュースは知っていたが、一人親世帯では半数近くがそれにあたるということを知り驚いた。	ご意見として承ります。	E
140	Ⅱ子どもの貧困の状況	子ども達には「学ぶ場」が平等に与えられるべきで、集団に入っていけない、いじめで学校に行けない等、様々な事情を抱える子どもたちにも「学ぶ場」は平等に与えられるべきで、子どもたちが保護者の収入によって、その環境が平等に与えられない現状を何とかしたい。母子家庭も多くあり、子どもの心もやせ細ってきている。	不登校の児童生徒の居場所の一つとして、市内5か所にフレンドシップ（適応指導教室）を設置しております。	E
141	Ⅱ子どもの貧困の状況	国の貧困状況と比較しても、鹿児島市の貧困状況は数値として高く出ており、市の子どもの生活全体の底上げが必要と思われます。不登校の問題への取組もその一助となると考えています。	ご意見として承ります。	E
142	Ⅱ子どもの貧困の状況	全国的に相対的貧困状況にあり、鹿児島市においては生活保護世帯数は横ばいなものの、生活保護人員が多いので全国的に厳しい状況であると感じます。	ご意見として承ります。子どもの貧困対策を推進するにあたっては、本市の状況や子どもの生活に関するアンケート調査の結果等も踏まえ取り組んでまいります。	E
143	Ⅱ子どもの貧困の状況	7人に1人が相対的貧困の状態であったり、大人が一人である世帯の2人に1人が相対的貧困状況にあるのにはおどろきました。	ご意見として承ります。また、子どもの貧困及び本市の子ども達の状況等について、周知にも努めてまいります。	E
144	Ⅲ鹿児島市子どもの生活に関するアンケート調査結果の概要	母子世帯の貧困率がどれほど高いか、よく分かった。	ご意見として承ります。	E
145	Ⅲ鹿児島市子どもの生活に関するアンケート調査結果の概要	A層の方は本当に憲法の定める最低生活をされているのでしょうか。245÷2=122.5万円です。老人家庭ならいざ知らず、子どもがいてこのA相の人は、どんな生活になっているのでしょうか。憲法のいう最低限の生活になっているのですか。	子どもの生活に関するアンケート調査結果からも、A類世帯の方々の生活が厳しいことがうかがえます。全ての子どもが生まれ育った環境によって左右されることのないよう、子どもの貧困対策に取り組んでまいります。	E

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
146	Ⅲ鹿兒島市子どもの生活に関するアンケート調査結果の概要	家庭での過ごし方。親子でゲームを過ごすなどの話も聞きます。絵本を貸し出すも家で読んでもらってないという話を子どもたちがよくします。それぞれの家庭の事情もありますが、保護者への声かけの難しさを感じます。	子どもの貧困対策を推進するにあたっては、保護者に対する支援も含めて取り組んでまいります。	E
147	Ⅲ鹿兒島市子どもの生活に関するアンケート調査結果の概要	手取り額が少なすぎます。多くもらったとしても「税」の圧があります。	ご意見として承ります。	E
148	Ⅲ鹿兒島市子どもの生活に関するアンケート調査結果の概要	世帯構成別の母子世帯がA類世帯で58.5%と低所得者が目立っています。回収率がともに80%代の高率で評価したいです。	ご意見として承ります。	E
149	Ⅲ鹿兒島市子どもの生活に関するアンケート調査結果の概要	女性の貧困の傾向として、若年での出産、学歴、困難経験などが高いことは知識として性教育の中で教えることはできないものか。女性の一生に関わる大事なことは、中学生のうちに考え、課題解決へ導く機会を作るべき。	ご意見として承ります。なお、保健の学習では、学習指導要領に基づいて、発達の段階に応じた性に関する指導を行っているところです。	E
150	Ⅲ鹿兒島市子どもの生活に関するアンケート調査結果の概要	子どもの生活は親の幸福度に左右されると思います。	ご意見として承ります。	E
151	Ⅲ鹿兒島市子どもの生活に関するアンケート調査結果の概要	鹿兒島市の現状を知るため、アンケート調査は必要かなと思う。	賛同のご意見として承ります。	E
152	Ⅲ鹿兒島市子どもの生活に関するアンケート調査結果の概要	世帯構成でみると母子世帯のA類世帯率がやはり多い。	ご意見として承ります。	E
153	Ⅲ鹿兒島市子どもの生活に関するアンケート調査結果の概要	母子世帯の貧困率が高い、というのはやはり女性の就職機会や職場での評価等に問題があるように思います。かなり以前が、男女平等が叫ばれていますが、まだ男性>女性の風潮が残っているのでしょうか。	ご意見として承ります。	E
154	Ⅲ鹿兒島市子どもの生活に関するアンケート調査結果の概要	計算について詳しく書かれていたが、内容が難しく、理解できたか不安。	ご意見として承ります。なお、貧困率の考え方について、分かりやすい説明に努めてまいります。	E

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
155	Ⅲ鹿児島市子どもの生活に関するアンケート調査結果の概要	所得類型別区分の各世帯区分を理解するのに少々時間がかかった。	ご意見として承ります。なお、子どもの貧困の考え方について、分かりやすい説明に努めてまいります。	E
156	Ⅲ鹿児島市子どもの生活に関するアンケート調査結果の概要	A類世帯で母子世帯の方が58.5%、半数以上を占めているということは母子世帯への対策がもっと必要なのかもしれませんが。	ご意見として承ります。全ての子どもが生まれ育った環境に左右されることのないよう、子どもの貧困対策に取り組んでまいります。	E
157	Ⅲ鹿児島市子どもの生活に関するアンケート調査結果の概要	母子家庭の世帯の厳しい状況をあらためて知った。	ご意見として承ります。	E
158	Ⅲ鹿児島市子どもの生活に関するアンケート調査結果の概要	鹿児島市の子育て支援はかなり充実してきていると感じますが、病児保育の受け入れ拡大、市街地以外のファミサポなどボランティアの充実、民間会社などのシッター等の子育て支援サービスの充実は必要と感じます。なぜならば、現在の学校行事等は自営業や専業主婦の方には参加しやすいように感じますが、フルタイムで働きたい女性には、現実的に参加が難しいと感じます。子どもを優先したい親にとって、学校行事への参加はしたいが、仕事を休まなければならない状況は、特に母親にとっては正社員で働くことが困難な社会環境であり、貧困を招くと感じます。	本市では地域において、安心して子どもを育てる環境づくりのため、ファミリー・サポート・センターの運営など子育て支援施策の充実に努めております。また、職場で共に働く部下・スタッフのワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の両立）を考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司（経営者・管理職）について取組を進めることに賛同する企業・団体にご参加いただいている「鹿児島市イクボス推進同盟」の取組を、引き続き進めてまいります。病児・病後児保育、ベビーシッターにつきましては、いただいたご意見も参考にしながら、子育て中の親に寄り添う支援の充実に努めてまいります。	E
159	Ⅲ鹿児島市子どもの生活に関するアンケート調査結果の概要	調査方法、集計方法ともに分かりやすい手法を用いていると思います。	ご意見として承ります。今後、同様の調査を実施する場合、多くの方に分かりやすい内容となるよう、引き続き努めてまいります。	E
160	Ⅳ調査結果からみる本市の課題	本市の子どもの貧困対策に、4つの柱を中心にするという施策はすばらしい。	賛同のご意見として承ります。	E
161	Ⅳ調査結果からみる本市の課題	①②③④の課題は、むしろ④③②①とすべきではないですか。	順序につきましては国の子供の貧困対策大綱の4つの柱の順番に沿って掲載しております。	E
162	Ⅳ調査結果からみる本市の課題	親を支えるべきという見方は正しいと思います。	賛同のご意見として承ります。	E

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
163	IV調査結果からみる本市の課題	教育の機会均等は、小・中・高のみならず大学も無償でいくべきです。	ご意見として承ります。	E
164	IV調査結果からみる本市の課題	所得に応じて補助の仕方など検討していても良いのではと思います。実際、経済的理由で進学をあきらめる子どももいると聞いている。奨学金の無利子・低金利など市としてフォローできれば良いと思う。	国・県の給付型奨学金が拡充されつつあることから、ご意見として承ります。	E
165	IV調査結果からみる本市の課題	①教育に関すること④経済的負担について 3(4)21Pの「子どもの持ち物」において、大部分に関しては指摘のとおり「所得が高くなるほど持っている」という結果だが、「ゲーム機」「携帯電話・スマートフォン・タブレット」に関してはその限りではなく、特にゲーム機は真逆の結果となっている。このことに関してどのような見解を持っているかぜひ聞きたい。(どのような課題があるのか)	「ゲーム機」「携帯電話・スマートフォン・タブレット」の所持率が相対的貧困家庭において高い結果であったことは、子どもの持ち物など、見た目からでは家庭の状況が分からないことの表れだと考えています。世間一般の貧困家庭のイメージと、実際の貧困家庭の状況は必ずしも同じではないことを、子どもの貧困問題の周知等を行う中で伝えてまいります。	E
166	IV調査結果からみる本市の課題	日本は教育にたくさんお金を使う必要があります。	ご意見として承ります。	E
167	IV調査結果からみる本市の課題	虐待をする父親母親に重い制裁を加えることが大事です。虐待は多くの負債を残し、傷跡を残すので。	ご意見として承ります。	E
168	IV調査結果からみる本市の課題	お金がかかることに関しては多少しかたのないこともあるだろうが、貧困が必ずしも学力に関わるともいえないのではないかと。我が家にも貧困時代をすごし苦労した者がいるがそういう経験者の話を聞く機会があったかなどの質問があってもよかったのでは。本市としてはこのような状況にあるんだなということは理解できた。	ご意見として承ります。	E
169	IV調査結果からみる本市の課題	「教育の支援」「生活の安定に資するための支援」「保護者に対する職業生活の安定と向上に資するための支援」「経済的支援」の4つの柱に期待をします。	賛同のご意見として承ります。	E
170	IV調査結果からみる本市の課題	相談業務、手当では子どもには届かない。担当制、無償化を社会のしくみとして当然にするとういと思っています。	ご意見として承ります。	E
171	IV調査結果からみる本市の課題	4つの柱を中心にした支援が行われていると思います。	賛同のご意見として承ります。	E
172	IV調査結果からみる本市の課題	割合だけでなく、他に課題があることがわかったことは対策を検討できるということなので良いことだと思う。	賛同のご意見として承ります。	E

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
173	IV調査結果からみる本市の課題	その通りだと思います。	賛同のご意見として承ります。	E
174	IV調査結果からみる本市の課題	最後に差別や偏見を助長しない様にと書いてありますが、その通りだと思います。	賛同のご意見として承ります。	E
175	IV調査結果からみる本市の課題	鹿児島市の貧困率が高いというのはわかりました。真摯に受け止めて改善策が必要でしょう。課題として挙げられている4つの柱のうち「教育支援」と「経済的支援」は何となくわかりますが、残り2つは具体的なイメージがよく伝わりません。結局、残り2つも経済的支援ってことのような気がします。	ご意見として承ります。「生活の安定に資するための支援」は子どもや家庭が社会的孤立に陥ることのないよう、親の妊娠・出産期からの相談支援の充実を図るなど、家庭の状況に応じた幅広い取組を行うものであり、「保護者に対する職業生活の安定と向上に資するための就労の支援」は、単に職を得るにとどまらず、仕事と生活の調和につながる取組の推進等を図るものです。	E
176	IV調査結果からみる本市の課題	本市が他市よりも貧困率が高いということが、今まで知らなかったことでした。4つの柱で支援することも分かりました。	賛同のご意見として承ります。また、子どもの貧困及び本市の子ども達の状況等について、周知にも努めてまいります。	E
177	IV調査結果からみる本市の課題	鹿児島市の調査結果はよく分析・考察されており、4本の柱は的確なものだと思います。鹿児島市は国や県と比較しても、経済的困難を抱えた子どもが多いという結果には驚かされました。	賛同のご意見として承ります。また、子どもの貧困及び本市の子ども達の状況等について、周知にも努めてまいります。	E
178	IV調査結果からみる本市の課題	全国や県の貧困率に比べて本市のアンケートから得た貧困率が高いということは、賃金が低いということも1つ挙げられるとは思いますが、4つの柱を中心に施策をすすめていただけたらと思います。	賛同のご意見として承ります。	E
179	IV調査結果からみる本市の課題	鹿児島市は県や国と比較しても経済的困難を抱えた子どもや家庭が多いということで、より手厚い支援をしていくことが必要であると感じた。	賛同のご意見として承ります。	E
180	IV調査結果からみる本市の課題	全国のパーセンテージより鹿児島市の方が高いことに驚き、深刻な問題だと感じた。また、経済的困難を抱えた子どもや家庭が多いことも分かり、課題が多いなと思った。4つの柱を中心に改善してほしいと思う。	賛同のご意見として承ります。また、調査結果から見える課題も踏まえ、子供の貧困対策大綱の4つの柱に基づき、子どもの貧困対策に取り組んでまいります。	E
181	IV調査結果からみる本市の課題	いいと思います。思いますが、具体的支援内容が明記なし。分かりづらい。	ご意見として承ります。素案「6施策の概要」に基づき、具体的な取組に努めてまいります。	E
182	IV調査結果からみる本市の課題	支援が必要な方に、情報として多く知ってもらえるような取組をしてほしい。	ご意見として承ります。様々な支援制度について、必要な方に情報が届くよう、適切な情報発信に努めてまいります。	E

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
183	IV調査結果からみる本市の課題	教育の支援については、先生の負担軽減も重要であることはもちろんですが、先生の人格、個性、特性によって、対応が様々と感じます。一定程度の質の確保で救うことの出来る子どもも増えると思います。生活の安定に資するための支援については、親子教室も取り入れてもらいたいです。貧困の連鎖は、計画的な金銭管理が困難な親から連鎖しているように感じます。現在は家庭でそれを学ぶことは困難です。根本的な部分の学習を幼い頃から学ばなければ、連鎖を食い止めることは難しいと感じます。保護者に対する職業生活の安定と向上に資するための就労支援については「Ⅲ鹿児島市子どもの生活に関するアンケート調査結果の概要」で述べた、子育て支援の充実と共に、学校運営が現社会に合ったものに変革されなければ、母子家庭の貧困の改善は難しいように感じます。経済的支援については同時に金銭管理支援もしなければ貧困の状態が変わらない家庭も多いように感じます。	ご意見として承ります。なお、金銭管理とは異なりますが、生活・就労支援センターにおいて家計の状況を可視化し、問題点、解決の手段を共に考え、必要に応じて支援ができる関係機関に同行する「家計改善支援」をご希望される方に行っております。	E
184	IV調査結果からみる本市の課題	経済的な問題以外に、子どもと保護者に多様な問題が生じており、保護者が安心して仕事に就き、生活を安定させるためにも不登校の子どもを安心して通わせられる場は必須と考えます。その意味でも、私たちの組織のような専門家が不登校生に対応できる場が必要で存続できたら市全体の教育のアップにつながると思っています。	ご意見として承ります。	E
185	IV調査結果からみる本市の課題	子どもの貧困は社会問題であるとともに、鹿児島市においても、経済的な困難を抱えた子どもや家庭（世帯）が多いのだと感じました。市の掲げる「4つの柱」は的を得る施策であり、バランスのとれた支援が求められると思います。	賛同のご意見として承ります。施策の推進にあたっては4つの柱を中心に、総合的かつ効果的に取組に努めてまいります。	E
186	V計画の基本的考え方について	いいと思います。	賛同のご意見として承ります。	E
187	V計画の基本的考え方について	子どもは親を選んで生まれていません。気付いたらこの親だった、この家庭だったのです。	全ての子どもが生まれ育った環境に左右されることなく、現在から将来の生活にわたり、夢や希望を持てる社会を目指して、子どもの貧困対策に努めてまいります。	E
188	V計画の基本的考え方について	差別や偏見よりも、支援がよく行くことが大切です。	ご意見として承ります。	E
189	V計画の基本的考え方について	家族の多い家庭（子どもの多いご家庭）への金銭的なフォロー。生活面・衛生面・食事等大丈夫なのかと思うこともある。幼稚園時代は差別や偏見は少ないが、年齢があがると共にそういう感情も子どもたちにも出てきてしまいがち。行政からのフォローが必要。	全ての子どもが生まれ育った環境に左右されることなく、現在から将来の生活にわたり、夢や希望を持てる社会を目指して、子どもの貧困対策に努めてまいります。	E
190	V計画の基本的考え方について	子どもも大人もお金の教育をすることが大事です。豊かな生活をする、夢をかなえるにはお金が必要です。	ご意見として承ります。	E
191	V計画の基本的考え方について	フードバンクやこども食堂などを利用して食費をおさえたり、ノートPC、スマホを安く買える制度を作してほしいです。	ご意見として承ります。	E

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
192	V計画の基本的考え方について	取組むべき問題だと思うので、考え方に共感します。	賛同のご意見として承ります。	E
193	V計画の基本的考え方について	「子育てをするなら鹿児島市」第二期鹿児島市子ども・子育て支援事業計画を是非成功させてほしい。	子ども・子育て会議等にて毎年事業の進捗状況等を点検しながら、計画を進めてまいります。	E
194	V計画の基本的考え方について	社会問題であることの周知に努めるほか、事業実施にあたっては、対象となる子どもや家庭に対する差別や偏見を助長してしまうことがないよう、その実施については十分に留意するという項目には賛同します。	賛同のご意見として承ります。	E
195	V計画の基本的考え方について	大変良い考え方だと思います。この考え方が社会全体にも広がって行けば支援の輪がより大きく広がって行くと思う。	賛同のご意見として承ります。	E
196	V計画の基本的考え方について	地域社会全体で課題解決をするという意識を持つことは大切であるが、実際にはその理想は程遠い。町内会に入っていない子どもには餅を与えないなど、特に高齢の町内会関係者による排除が目に見える。市報で子どもの貧困率について特集してはどうか。問題を表面化しなければ、あらゆる場でそのようなことが起こると思われる。	ご意見として承ります。なお、子どもの貧困対策推進にあたっては、子育てや貧困を家庭のみの責任とするのではなく、地域社会全体で解決するという視点で取り組むことが重要であると考えております。いただいたご意見も参考にしながら、子どもの貧困問題の周知に努めてまいります。	E
197	V計画の基本的考え方について	家庭・家族にそれぞれの背景があるのは当然の事で、それに左右されないためには、子どもの生活にかかる費用を全て無償化にすることだと思います。	ご意見として承ります。	E
198	V計画の基本的考え方について	スタートしている計画に具体的な施策をするための考え方は理解できる。	賛同のご意見として承ります。	E
199	V計画の基本的考え方について	国の重点施策を鹿児島でも推進していくというのには異論ありません。どんどん実施して行ってください。	賛同のご意見として承ります。	E
200	V計画の基本的考え方について	「子どもが皆、夢や希望をもって成長できる社会」とする考え方はすばらしく、そのために社会全体で取り組むということもよいと思います。（具体的にどのような取り組みが必要なのか、そこをパブリックコメントで募集するなど、要点を焦点化させると良いのではないかと感じました。ここまでの説明は、特にコメントすべきこともあまり考えつきませんでした。）	賛同のご意見として承ります。	E
201	V計画の基本的考え方について	基本的考え方がぶれることのないようにしながら取り組んでいきたいものです。市民全体でしっかりと考えるべきです。	ご意見として承ります。	E

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
202	V計画の基本的考え方について	将来を担う子ども達が格差なく明るい未来がひらけていけるように各家庭の問題にとどめることなく地域社会全体で考えていくことが大事であるという考え方に賛同します。	賛同のご意見として承ります。	E
203	V計画の基本的考え方について	子どもの貧困の問題が社会的問題であることを知らない人が多いと思う。私自身もこの資料を見て知ることができたため、この社会問題をどのような方法で社会全体に伝えていくかが大切だと思う。デジタル社会になってきつつあるため、若い人達にも目にふれやすいような工夫も考えた方がよいと思う。(SNS, ラインなど)	ご意見として承ります。子どもの貧困及び本市の子ども達の状況等について、周知に努めてまいります。	E
204	V計画の基本的考え方について	「経済的支援」に関しましては、保護者が子どもの為に活用されている事実確認	ご意見として承ります。	E
205	V計画の基本的考え方について	いいと思います。思いますが、具体的支援内容が明記なし。分かりづらい。	ご意見として承ります。素案「6施策の概要」に基づき、具体的な取組に努めてまいります。	E
206	V計画の基本的考え方について	「子どものことを第一に考えた支援」まさにその通りと思う。子どもの心の安定は親と過ごす時間だったりもすることがあるので、親が子育てに対し、少しでも心にゆとりができるような支援が求められる。	賛同のご意見として承ります。また、子どもの貧困対策を推進するにあたっては、保護者に対する支援も含めて取り組んでまいります。	E
207	V計画の基本的考え方について	賛成です。	賛同のご意見として承ります。	E
208	VI施策の概要	スクールソーシャルワーカーとスクールカウンセラーを増員して配慮の必要な家庭のサポートを拡充していただきたい。	スクールソーシャルワーカーについては、令和2年度から2人増員しております。	E
209	VI施策の概要	高校・短大・大学等への進学が可能になるように奨学金制度を拡充して一定の基準のもとに返済免除を原則としていただきたい。	国・県の給付型奨学金が拡充されつつあることから、ご意見として承ります。	E
210	VI施策の概要	貸与してもだめです。給付してください。教育ローンを市役所がして(組んで)どうするのですか。給付してはじめて支援です。	国・県の給付型奨学金が拡充されつつあることから、ご意見として承ります。	E
211	VI施策の概要	就労支援は、民間のように「お宅は人は必要でないですか」くらいの意気込みがほしいです。	ご意見として承ります。	E

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
212	VI施策の概要	これまでの考え方と今後の考え方はどのように違うのか。一般市民がわかるように、簡易な表現で説明が欲しい。	子どもの貧困対策については、これまで国の「子どもの貧困対策に関する大綱」に基づき、様々な対策（生活保護・ひとり親支援・就学援助など）を行ってきたところです。また「第二期鹿児島市子ども・子育て支援事業計画」においても子どもの貧困対策の視点は含まれていますが、その中で特に先導的・重点的に取り組む施策を盛り込んだ「鹿児島市子どもの未来応援プラン」を策定いたします。当プランは、「子どもの最善の利益が優先考慮されること」や「貧困の背景には様々な社会的要因があること」などが盛り込まれた新たな国の「子供の貧困対策に関する大綱」に基づいており、今後各施策の推進を図ってまいります。	E
213	VI施策の概要	子どもを支援するにあたり、家庭の中で教育費の占める割合は相当に大きいと思われる。高校だけでなく、専門学校や大学についても、無償化が少しでも進んで欲しい。	ご意見として承ります。	E
214	VI施策の概要	学校の中で就学援助の認定をもらう家庭は多くいるが、乗っている車が立派だったり、家が立派だったりして、認定の基準に頭をかき上げることがある。本当に助けて欲しい子どもや家庭の見極めも必要ではないか。	就学援助制度については、公平性の観点から基本的に前年の所得に基づいた審査を行っております。	E
215	VI施策の概要	子どもを束縛させるような教育はやめた方が良い。	ご意見として承ります。	E
216	VI施策の概要	教師の能力を高めることが大事である。人格も一緒に。	ご意見として承ります。	E
217	VI施策の概要	いじめ対策も大事です。いじめは未来の宝を傷つける卑劣な行為だ。	鹿児島市いじめ防止基本方針のもと、いじめの未然防止や早期対応に努めるとともに、5月25日から6月25日までの1か月間を「いじめ防止啓発強調月間」として設定し、各校で標語作成などいじめをなくす取組を行っております。	E
218	VI施策の概要	すべての子どもが安心して質の高い幼児教育・保育を受けられるように、幼児教育・保育の無償化の推進に努めてください。新市長さんも力を入れようとされている一つです。	今後も国の動向等にも注視し、幼児教育・保育の無償化の推進に努めてまいります。	E
219	VI施策の概要	4つの支援の柱を掲げていますが、現在どのような支援状況であり、今後どのようなことを計画しているのかの具体例が必要だと思います。事務的に計画書を作成するのではなく、市民が読みたいと思う内容に仕上げないと、誰も読まないし、読まないと意見は集められないのではないかと思います。	素案「6 施策の概要」で4つの重点施策に関連する具体的な支援を記載しているところです。なお、子どもの未来応援プランは第二期鹿児島市子ども・子育て支援事業計画に含まれることから、実施状況等については「7 計画の推進にあたって（2）計画推進体制」に掲載している各会議において報告し、施策推進における評価並びに助言・提言を受けることとしております。	E
220	VI施策の概要	低所得者の多い母子家庭においては幼児教育・保育の無償化を推進したいと思います。	今後も国の動向等にも注視し、幼児教育・保育の無償化の推進に努めてまいります。	E

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
221	VI施策の概要	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーによる相談会のチラシが学校から配布されるが、具体的な相談例がないためどのように活用したらいいかわかりにくい。子どもを通じてつながるせつかくの支援が有効化されていないのではないかと。平日仕事が休めない場合、土日に行くなどの工夫も必要。	市相談窓口等を紹介した「市教育相談事業に関するQ&A」のリーフレットについて周知を図るとともに、他の相談窓口の周知に努めてまいります。	E
222	VI施策の概要	当園は0～2歳までの限られた期間でのお預かりですが、その期間だけでも保護者や子どもに寄り添った対応ができればと思っております。	賛同のご意見として承ります。	E
223	VI施策の概要	現在でも市から色々なサポートが多くあるのだと思った。生活をする上の支援は知っているものも多かったが、子ども達がたくさん体験ができる場もたくさんあるのだと初めて知った。	賛同のご意見として承ります。様々な支援制度について、必要な方に情報が届くよう、適切な情報発信に努めてまいります。	E
224	VI施策の概要	学び、生活の安定、就労支援、経済的支援と多岐にわたる施策は良いと思う。	賛同のご意見として承ります。	E
225	VI施策の概要	よし	賛同のご意見として承ります。	E
226	VI施策の概要	むずかしいことはわかっていますが、本当に困っている人たちだけへの支援を十分に調査の上、実施してほしいです。「母子家庭」というだけで、裕福なのに一律の手当を、なんてことはあってほしくないです。	ご意見として承ります。	E
227	VI施策の概要	内容として反対するようなものは特にありません。我が家は長男が発達障害があり、1歳～4歳の現在まで、療育を利用しています。（育休中で未就園、療育、医療リハビリのみ）日々ストレスとオムツやリハビリなどのお金もかかる育児、更に妹も療育の間一時預かりを利用。精神的にも金銭的にも余裕はなく、育休復帰が楽しみなくらいです。市が療育を無償化し、無料で利用できる子育て支援センターが近所にあることが、本当にありがたいです。我が家は貧困世帯ではないと思いますが、それなりに大変な生活のため、現在の支援をフルで利用しており、この支援を継続していただけることを切に望みます。	賛同のご意見として承ります。また、今後の子どもの貧困対策を推進するにあたっては、いただいたご意見も参考にしながら取り組んでまいります。	E
228	VI施策の概要	HSC（ひといちばい敏感な子）をもつ親から相談を受ける中で、不登校の子どもがとても多いことが分かってきました。不登校の7割はHSCと言われています。フリースクールなど環境を変えれば喜んで登校することができるのですが、入学に2万円、月に4万円ほどの保護者負担があり、経済的に通わせることができずに結果的に1人で家に留守番をしている家庭が多く見られる状況です。大阪や福岡などは補助を受けられるようですが（学校外教育バウチャーなど）鹿児島はまだ子どもたちの現状に追いついていないと感じています。学びたい気持ちはあるのに、「学校」という場しかないことで、十分な学びを受けられていません。保護者負担を減らすべく、フリースクールの無償化をぜひお願い致します。日本国憲法26条第2項にも「義務教育は、これを無償とする。本条は、国民に教育を受ける権利を保障しています。」と記載しています。切実です！1日も早いご対応をよろしく願います。	ご意見として承ります。	E

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
229	VI施策の概要	全ての支援が、貧困家庭のみならず、全体に広がってほしいと思う。困っている時に、支援があるということを知ることから身近にできてほしいと思う。	ご意見として承ります。様々な支援制度について、必要な方に情報が届くよう、適切な情報発信に努めてまいります。	E
230	VI施策の概要	1つ1つの取組の内容が細かく分かりやすかった。子どもだけでなく親のことも考えてあり、安心して生活したり、仕事したりできると感じた。また、子どもの教育支援の質が向上することで、子どもが自分のしたいことや夢が見つかりやすいと感じた。	賛同のご意見として承ります。	E
231	VI施策の概要	奨学金制度の撤廃 社会人になってからの負担が大きいため	ご意見として承ります。	E
232	VI施策の概要	素案を読みましたが、現在行われているものも多数見受けられ新しさを感じないなあとというのが正直な感想です。これら書かれている施策が必要としている方達のもとに届くよう（申請などの手続や施策にかかれた行動ができること）支援が工夫が必要かと思えます。具体的なことが考えつかなくて申し訳ないのですが・・・。	ご意見として承ります。子どもの貧困対策を推進するにあたっては、情報発信のあり方や、きめ細かな相談対応など、既存の取組においても子どもの貧困という視点を持って取り組んでいく必要があります。引き続き、様々な支援制度について、必要な方に情報が届くよう、適切な情報発信に努めてまいります。	E
233	VI施策の概要	いいと思いますが、体験活動となると親のつきそい、送迎が必要となります。共働き、土日仕事しているとなかなか体験させたいが、難しいこともあります。	ご意見として承ります。子ども達の多様な体験活動の場が提供できるよう取り組んでまいります。	E
234	VI施策の概要	生活保護でも私学高校に通うことができる子ども達も増えてきています。ただ諸費用は高額で、奨学金などの制度を利用する方も多いです。子どもが新社会人になったと同時に借金返済を背負うことになってしまったり、逆に最初から自己破産を選択したり、選択せざるをおえない状態だったり、とても夢を見ることのできない状態になる方も多くいるよう感じます。そういう状態にできるだけならないようにするための対策は必要です。学校が地域に開かれたプラットフォームという位置づけであれば、先生の負担分散や軽減と同時に、家庭にも注意を向けて支援をコーディネートできる一定程度の質の確保、その学年だけでなく、そして各学校の期間だけでなく長期的に関わることでできる支援者が必要だと思います。それがスクールソーシャルワーカー等の役割であれば、その人員数と質の確保も重要と感じます。スクールソーシャルワーカー等がもっと教育や家庭に介入できるようにしてほしいです。	いただいたご意見も参考にしながら、子どもの貧困対策に努めてまいります。なお、スクールソーシャルワーカーについては、令和2年度から2人増員して対応しており、研修会などを通して相談員の資質向上を図っております。	E
235	VI施策の概要	今後の未来を担う子どもたちの環境が整い、「子育てするなら鹿児島」との認識が全国的に広がるためには、教育が平等に受けられる環境を整えることが先決で、と同時に、増え続けている不登校問題にとりくんでいくことが大切と思われます。	いただいたご意見も参考にしながら「6施策の概要(1)学びの支援」に取り組んでまいります。なお、不登校については、教育相談の充実に努めてまいります。	E
236	VI施策の概要	スクールソーシャルワーカーの働きかけによって、様々な困難に直面する子どもたちを早期に発見し、必要な支援につなげていく試みを実現していくには、支援先の確保が大切で、私たちのようなNPO法人の団体等が存続していく必要性を感じています。	ご意見として承ります。	E
237	VI施策の概要	子どもたちがこれからの困難な社会を担っていくことを思うと、多様性であったり、ものごとを実行する行動力、決定力、問題解決能力等、様々な能力が必要となると思われ、そのための教育を、学校教育だけでなく、私たちのような教育機関の存在意義を理解していただきたい。	ご意見として承ります。	E

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
238	VI施策の概要	現在不登校児童が増えている現状として、学校以外の居場所として、本人が行きたいと思うフリースクールを選びたくても、フリースクールの入会金や学費が経済面がネックになり、選びたくても選べない。学校に行けない事により家庭でも親子関係や、学校、近所と孤立しやすくなり、引きこもりになる原因になっていると思います。他の市町村では、補助券などが利用できる場所もあると聞きました。未来をつくる子供たちの為に、小中学校の義務教育において、まなびの保証として、フリースクールの保護者負担を減らす方法をぜひ取り入れてほしい。無料で利用できるフレンドシップはなかなか子どもたちがなじめない状況です。もっと親や子供達の気持ちを理解してくれる体制を整えてほしい	ご意見として承ります。	E
239	VI施策の概要	市が掲げる「4つの柱」、市は様々な事業を行っていて、周知されていると思いますが、すみずみまでの市民への周知が必要かと思えます。対象となる子どもや家庭（世帯）への配慮をしながらの実施をお願いしたいと思います。	ご意見として承ります。様々な支援制度について、必要な方に情報が届くよう、適切な情報発信に努めてまいります。	E
240	VI施策の概要	実施されたらとても素晴らしいと思います。	賛同のご意見として承ります。	E
241	VII計画の推進にあたって	当然のこととしてとらえる。	賛同のご意見として承ります。	E
242	VII計画の推進にあたって	母子家庭（1人親）支援課あたりをつくって、それ専門にやらせる。	ご意見として承ります。	E
243	VII計画の推進にあたって	総体的ではなく「鹿児島市にきたら母子家庭は楽になる」というような、どこかの市がやっているのを学ぶ。	ご意見として承ります。	E
244	VII計画の推進にあたって	すべての子どもが同じように平等であるべきだと思うが何かしらのかたよりがあると感じる。	ご意見として承ります。	E
245	VII計画の推進にあたって	計画が上手くいくには親、国民の質を上げなければいけません。親は責任、覚悟、余裕、お金が必要です。	ご意見として承ります。	E
246	VII計画の推進にあたって	いいと思います。	賛同のご意見として承ります。	E

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
247	VII計画の推進にあたって	行政・地域・関係機関・民間団体などすべてが一同に集まって話をするのは難しいと考えられるが、機会を設けて、同じ考え方で取り組むことができればいいと思う。わかりやすい周知徹底ができるような工夫をしていかなければと考える。	ご意見として承ります。	E
248	VII計画の推進にあたって	耳ざわりの良い言葉を並べても、子どもの生活も、少子化もかわらないと思います。きくところによると、兵庫県明石市は、子育て支援で人口が増え、誘致しないのに企業が参入しているそうです。思いきった具体的な実行が必要だと思います。	ご意見として承ります。	E
249	VII計画の推進にあたって	素晴らしい計画だと思います。協働・連携していけたらと思っています。	賛同のご意見として承ります。	E
250	VII計画の推進にあたって	生活がくるしく1人で悩んでいる人が、少しでも地域や色々なサポートに気付き、子どもの為に安心して過ごせる環境をみんなで創っていかなければいけないと思った。図を見てみると、現在のサポートの手厚さがとても分かりやすく感じた。	賛同のご意見として承ります。	E
251	VII計画の推進にあたって	私達も行政とのパイプ役として協働・連携して取り組んでいきたいと思っています。	賛同のご意見として承ります。	E
252	VII計画の推進にあたって	貧困による教育の不平等、貧困の連鎖、これらはまちがいなく存在しています。やれることから良いので、これを改善して行ってほしいです。	賛同のご意見として承ります。	E
253	VII計画の推進にあたって	ひとり親世帯でも一人で頑張っている人、生活保護でのひとり親世帯とでは福祉に差があると思います（児童扶養手当の減額等）。	ご意見として承ります。	E
254	VII計画の推進にあたって	行政をはじめとする多くの機関や団体が計画の推進に関わっていることを市民がしっかりと理解することが大切かと思われます。	「7計画の推進にあたって」のとおり、関係機関と協働・連携し、子どもの貧困対策の推進に努めてまいります。また、子どもの未来応援プランの周知にも努めてまいります。	E
255	VII計画の推進にあたって	とても良く考えられた計画が立てられていることを知り、このことが多くの人へ伝わり、実施されていくことを願います。	賛同のご意見として承ります。また、子どもの未来応援プランの周知にも努めてまいります。	E
256	VII計画の推進にあたって	今回の計画が、しっかりと実行されることを願う。子どもたちや親が生活に困らないよう、夢を諦めてしまわないように、計画が実現できることを願っている。	ご意見として承ります。全ての子どもが生まれ育った環境に左右されることなく、現在から将来の生活にわたり、夢や希望を持てる社会の構築を目指して、子どもの貧困対策に取り組んでまいります。	E

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
257	VII計画の推進にあたって	今、年長・中1の双子の子どもがいます。入学は制服、部活の物品等購入するのに1人10万以上使いました。どの時代も入学はお金がかかりますが、共働きの私の家庭でも部活はむりかなと思いましたが。まずは、子ども達が生活できる環境づくりに目指し何に困ったのか現地調査してほしいと思います。	ご意見として承ります。	E
258	VII計画の推進にあたって	支援を求めたい時にどうしたらよいか、どのようなものがあるのか等、支援を必要とする方に情報提供のための連携も必要と思われる。	様々な支援制度について、必要な方に情報が届くよう、適切な情報発信に努めてまいります。	E
259	VII計画の推進にあたって	私たちがのようなNPO法人を支えていただけるような、このような機会をありがたく思っています。ぜひ、ご検討のほどよろしく申し上げます。	ご意見として承ります。	E
260	VII計画の推進にあたって	ぜひ進めていただきたいと思います。	賛同のご意見として承ります。	E
261	その他	日本もドイツのように保育園・幼稚園から大学まで公立は全部無償にする。本当に子どもの教育の機会均等ならそうするしかない。ここでまちがえれば日本は又鹿児島は滅びるくらいの覚悟でやる。	ご意見として承ります。	E
262	その他	児相、保健所の人員を増やせるともっと色々なサポートができるのではないかな。	ご意見として承ります。	E
263	その他	お金の問題はさけては通れません。税金の払い方、投資、家計簿、電卓の使い方、年金、保険、詐欺対策、電子マネー、キャッシュレス、簿記、銀行のしくみ、お金の歴史、不動産など学ぶ必要があります。	ご意見として承ります。	E
264	その他	課題が多義に渡りますが、頑張ってください。	賛同のご意見として承ります。	E
265	その他	コロナで一層格差が生まれ、困窮家庭はさらに厳しい状況におかれます。日々の生活に追われ公的支援から遠ざかり孤立してしまいます。「こまったらここへ！」という生活支援・就労支援・教育支援ふくめて誰でも気軽に相談できるワンストップ窓口がほしいです。そこへ行けば、フードバンクや衣類のリサイクル、医療、警察などへも繋がるようお願いしたいです。	生活・就労支援センターかごしまにおいて、相談者様の生活する上での困りごとをお訊ねし、どのような支援が必要か一緒に考え関連する部署や機関にお繋ぎするという支援を行っております。今後におきましても、さらなる連携先の充実に努めてまいります。	E
266	その他	私は病児保育室に勤めています。その立場から・・・ 医師の4割が女性、女性医師が就業にあたり一番必要な支援として挙げたのが病児保育。病児保育は保育所と同等、無償化してほしい。	今後も国の動向等にも注視し、幼児教育・保育の無償化の推進に努めてまいります。	E

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
267	その他	保育所入所手続のひとつに、病児保育の登録もしていただき、元気な時は保育所、病気の時は病児保育、と安心して子どもを託せるようにしてほしい。熱のある子どもの枕元で病児保育はキャンセル待ち、どちらが休む？とケンカしないように。熱の出た子を責める気持ちにならないように。	ご意見として承ります。	E
268	その他	一日も早く具体的に進むことを切に願います。	ご意見として承ります。	E
269	その他	プラン自体は非常によい。ただ、どのような支援があるのかを、それを必要とする人にいかに周知させるかも明記した方がよいと思う。	賛同のご意見として承ります。様々な支援制度について、必要な方に情報が届くよう、適切な情報発信に努めてまいります。	E
270	その他	正直、書いてくれと頼まれて、文字を半分無理やり埋めた感はいなめません。ここまで細かく区分ごとに意見を求めるのであれば、選択肢を設けてアンケート方式でも良かったかなと思います。	ご意見として承ります。	E
271	その他	取り組みをやっていることをもう少しPRしてほしい。そうすることで利用する人も増えるのではないのでしょうか。何らかの方法で知る機会を増やせてもらえればと思います。	ご意見として承ります。今後とも、子どもの貧困対策の周知に努めてまいります。	E
272	その他	相対的貧困が、具体的にどのような状況を指すのかを示して頂けると、よりイメージしやすいと感じた。	ご意見として承ります。貧困問題の背景には、家庭の状況や生活環境、所得、雇用問題等の様々な要因が複雑に絡みあっており、結果としてどのような状況であるかは、家庭により様々です。いただいたご意見も参考にしながら、子どもの貧困の周知に努めてまいります。	E
273	その他	貧困の状況にない家庭でも先行きが見えづらい状況にあると思います。これからの生きる子どもたちの時代は私たち親が生きてきた時代とは価値観、働き方、家族の形等が異なるのではと思います。文中にもあった、一人一人の豊かな人生とは何なのかなかなか難しいことではありますが、現状をよく調べていただき、効果のあるプランを立案、実行していただきたいと思います。	ご意見として承ります。子どもの貧困対策を進めるにあたっては、いただいたご意見も参考にしながら、子どものことを第一に考え、取組に努めてまいります。	E
274	その他	幼稚園～小学～中学と見てきました。個性が叫ばれる中、年齢が上がるにつれて集団生活を教育者が言葉・態度で強制しているように感じました。特に中学生の先生の言葉や子どもに対する指導がいじめ？と感じることもあります。教育者である方々の教育の仕方を見直す必要性があり、発達に応じた個々へのとりくみを早期に対応すべきと感じます。	ご意見を参考に、今後も教職員の資質向上に取り組み、心豊かな児童生徒を育む教育に取り組んでまいります。	E
275	その他	一市民として、貧困状況にある子どもや家庭（世帯）の抱えている課題や支援のあり方を意識しながら考え、行動していきたいと思っています。	賛同のご意見として承ります。	E
276	その他	生まれ育った環境によって左右されることのないすべての子どもが健やかに育成されることは、全面的に賛成です。子どもの未来応援プランが、子どものために、よりよいものになるようにと思います。	賛同のご意見として承ります。また、子どもの貧困対策を進めるにあたっては、子どものことを第一に考え、子どもや家庭の状況に応じた支援に努めてまいります。	E

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
277	その他	国全体で子どもにかかわるすべて費用が無料であったならば、心配はないと思いますし、貧困者が困ることも少なくなると思います。（鹿児島市で0才～2才も保育料無償化になると助かる家庭は多いかと思ひます。）	今後も国の動向等にも注視し、幼児教育・保育の無償化の推進に努めてまいります。	E